

精神看護学

精神看護学

目標Ⅰ. 精神の健康概念とその保持・増進のための看護の基本概念についての理解を問う。

目標Ⅱ. 患者の人権と安全を守り、精神医学の診断・治療を理解した看護実践についての理解を問う。

目標Ⅲ. 精神障害者の地域生活を支えていくための援助についての理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 精神の健康	A 精神の健康	a 精神の健康の概念	精神看護学 [1]: 第1章 A「精神の健康とは」(p.16~25)
		b 精神障害の第一次予防、第二次予防、第三次予防	精神看護学 [1]: 第2章 C-6「危機に対応した地域精神保健活動」(p.77)
	B 心の健康に関する普及啓発	a こころのバリアフリー宣言	精神看護学 [1]: 第1章「精神の健康と障害」(p.15~26)
		b 新健康フロンティア戦略	精神看護学 [1]: 第1章「精神の健康と障害」(p.15~26)
		c 健康日本21	精神看護学 [1]: 第1章「精神の健康と障害」(p.15~26) 公衆衛生: 第7章 C-1-1「精神保健と心の健康づくり」(p.178)
	C 精神の機能	a 意識と見当識	精神看護学 [1]: 第2章 A-3-1「意識」(p.37)、第4章 B-2-5「意識とその障害」(p.128~130)
		b 知的機能	精神看護学 [1]: 第2章 A-2「知能」(p.34~37)
		c 知覚	精神看護学 [1]: 第2章 A-3-2「知覚」(p.38)、第4章 B-2-4「知覚の障害: 幻覚を中心に」(p.127~128)
		d 思考	精神看護学 [1]: 第2章 A-3-2「認知」(p.39)、第4章 B-2-1「思考の障害」(p.121~124)
		e 感情	精神看護学 [1]: 第2章 A-4「感情」(p.39~41)、第4章 B-2-2「感情の障害」(p.124~126)
		f 意欲と衝動コントロール	精神看護学 [1]: 第4章 B-2-3「意欲の障害」(p.126~127)
		g 記憶	精神看護学 [1]: 第2章 A-3-2「記憶」(p.38)、第4章 B-2-6「記憶と障害」(p.130~131)
		h 注意と集中	精神看護学 [1]: 第2章 A-3-2「認知」(p.37~38)
		i 自我機能	精神看護学 [1]: 第2章 A-1-2「人格と自我」(p.31)、B-1-1「自我の構造」(p.42~43)
		j 行動	精神看護学 [1]: 第2章 B-1-2「不安と防衛」(p.43~47)
	D 危機〈クライシス〉	a 危機の概念	成人看護学 [1] (成人看護学総論): 第6章 A-2-3「健康破綻による危機状況」(p.192~195) 精神看護学 [1]: 第2章 C-1「危機という考え方」(p.71)
		b 危機介入	成人看護学 [1] (成人看護学総論): 第6章 B-1「危機にある人々への支援」(p.195~197) 精神看護学 [1]: 第2章 C-1「危機という考え方」(p.71) 家族論・家族関係論: 第6章 D-3-2「危機介入の理論と実際」(p.205~208)
		c 危機と予防	精神看護学 [1]: 第2章 C-6「危機に対応した地域精神保健活動」(p.77)
	E 発達段階と精神の健康	a 乳幼児期	精神看護学 [1]: 第2章 B-2「エリクソンの漸成的発達理論」(p.50~54)
		b 児童・思春期	精神看護学 [1]: 第2章 B-2「エリクソンの漸成的発達理論」(p.50~54)
c 青年期		精神看護学 [1]: 第2章 B-2「エリクソンの漸成的発達理論」(p.50~54)	
d 成人期		精神看護学 [1]: 第2章 B-2「エリクソンの漸成的発達理論」(p.50~54)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 精神看護の基本概念	A 生物学的側面	e 老年期	精神看護学 [1] : 第2章 B-2 「エリクソンの漸成的発達理論」 (p.50~54)
		a 脳の部位と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 B-1 「脳」 (p.34~42)、E 「おもな脳・神経の機能別解剖学」 (p.53~57)
		b 神経伝達物質と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 A 「神経系」 (p.30~33) 精神看護学 [1] : 第5章コラム 「精神疾患と脳内伝達システム」 (p.186)
		c 脳の脆弱性モデル	精神看護学 [1] : 第2章 C 「危機介入とストレス理論」 (p.71~77)
		d 免疫機能と概日リズム	精神看護学 [2] : 第9章 E-3 「睡眠の援助」 (p.209~212)
		e 睡眠	精神看護学 [1] : 第4章 C-2-4 「[非器質性] 睡眠障害」 (p.157~158)
	B 心理学的側面	a 精神情緒の発達	精神看護学 [1] : 第2章 A-4 「感情」 (p.39~41)
		b 転移感情	精神看護学 [1] : 第5章 C-3-1 「精神分析」 (p.198)
		c 自我の防衛機制	精神看護学 [1] : 第2章 B-1-2 「不安と防衛」 (p.43~47)
		d 集団力動	精神看護学 [1] : 第5章 F-1 「集団精神療法とは」 (p.208)
		e ストレスと対処	精神看護学 [1] : 第2章 C-4 「ストレスへの対処」 (p.74~75)
		f 適応理論	精神看護学 [1] : 第2章 C 「危機介入とストレス理論」 (p.71~77)
	C 社会的側面	a 偏見・差別・スティグマ	精神看護学 [1] : 序章 2-4 「精神障害者と精神科治療の変化」 (p.8~9) 精神看護学 [2] : 第8章 A-1-3 「スティグマ(社会的烙印)」 (p.66~67)
		b 施設症	精神看護学 [2] : 第8章 B-1-2 「環境が病気をつくりだす: 施設病」 (p.90)
		c 精神の健康を守る行政システム	精神看護学 [1] : 第6章 E 「精神障害と法制度」 (p.247~262) 精神看護学 [2] : 第10章 「地域における精神看護」 (p.228~286)
		d 健康増進法	看護関係法令 : 第3章 I-B 「健康増進法」 (p.120~121)
		e 自殺対策基本法	精神看護学 [1] : 序章 1 「心のケアと現代社会」 (p.2) 看護関係法令 : 第3章 II-G 「自殺対策基本法」 (p.135~136)
		f 発達障害者支援法	看護関係法令 : 第7章 II-J 「発達障害者支援法」 (p.228)
		g 犯罪被害者等基本法	精神保健福祉 : 第12章 H 「犯罪被害者の遺族への支援」 (p.254~256)
		h 児童虐待の防止等に関する法律	看護関係法令 : 第7章 II-B 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.219)
		i 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律	看護関係法令 : 第7章 II-D 「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」 (p.221)
		D リエゾン精神看護	a 心身相関と健康
	b 身体疾患をもつ人の精神の健康		精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312)
	c 精神疾患をもつ人の身体健康		精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312)
	d 患者と家族の精神の健康		精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312)
	e 看護職員の精神の健康		精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	E 看護理論	a 対人関係の看護論 b セルフケア理論	精神看護学 [1] : 第2章 B-3 「対象関係論」 (p.55~60) 精神看護学 [2] : 第7章コラム「オレムとアンダーウッド」 (p.42)
3 看護援助技法	A 精神症状のアセスメントと援助	a 不安状態 b 抑うつ状態 c 躁状態 d 幻覚 e 思考内容と思路の障害 f 強迫思考・強迫行為 g 意識の変容 h 記憶障害 i 離脱症状 j 知的機能の障害	精神看護学 [1] : 第4章 B-2-2 「感情の障害」 (p.125~126) 精神看護学 [1] : 第4章 B-2-2 「感情の障害」 (p.124) 精神看護学 [1] : 第4章 B-2-2 「感情の障害」 (p.124) 精神看護学 [1] : 第4章 B-2-4 「知覚の障害: 幻覚を中心に」 (p.127~128) 精神看護学 [1] : 第4章 B-2-1 「思考の障害」 (p.121~124) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-3 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.152) 精神看護学 [1] : 第4章 B-2-5 「意識とその障害」 (p.128~130) 精神看護学 [1] : 第4章 B-2-6 「記憶とその障害」 (p.130~131) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-6 「器質性精神障害」 (p.165) 精神看護学 [1] : 第2章 A-2-3 「知的能力の障害による生活上の問題」 (p.36~37)
	B セルフケアと援助	a 空気・水・食物の十分な摂取 b 排泄物と排泄のプロセスに関するケア c 体温と個人衛生の維持 d 活動と休息のバランスの維持 e 一人であることと社会的相互作用のバランスの維持 f 安全を保つ能力	精神看護学 [2] : 第7章コラム「オレムとアンダーウッド」 (p.42) 精神看護学 [2] : 第7章コラム「オレムとアンダーウッド」 (p.42) 精神看護学 [2] : 第7章コラム「オレムとアンダーウッド」 (p.42) 精神看護学 [2] : 第7章コラム「オレムとアンダーウッド」 (p.42) 精神看護学 [2] : 第7章コラム「オレムとアンダーウッド」 (p.42) 精神看護学 [2] : 第7章コラム「オレムとアンダーウッド」 (p.42)
	C リエゾン精神看護の技法	a 支持的面接 b 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア c リラクゼーション d 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312) 精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312) 精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312) 精神看護学 [2] : 第11章 C 「リエゾン精神看護」 (p.302~312)
4 精神科治療と看護	A 精神疾患の診断基準	a 統合失調症 b 気分障害 c 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 d 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 e 精神作用物質関連障害 f 人格障害 g 器質性精神障害 h 精神遅滞 i 発達障害	精神看護学 [1] : 第4章 C-2-1 「統合失調症」 (p.133~144) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-2 「気分(感情)障害」 (p.144~150) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-3 「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.150~156) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-4 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p.156~159) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-6 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.164~167) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-5 「パーソナリティ障害」 (p.159~161) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-6 「器質性精神障害」 (p.161~167) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-8 「知的障害/精神遅滞」 (p.169~170) 精神看護学 [1] : 第4章 C-2-9 「心理的発達の障害」 (p.170~172)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 臨床検査	a 脳波検査・脳の画像検査	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-2 「補助的検査法」 (p.97~106) 臨床検査 : 第11章 B-3-1 「脳波」 (p.322~327) 精神看護学 [1] : 第2章 A-2-2 「知能検査」 (p.35~36)
		b 心理検査	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 B-2-1 「脳脊髄液(髄液)検査」 (p.97~99)
		c 脳脊髄液検査	臨床検査 : 第4章 D 「脳脊髄液(髄液)検査」 (p.102~104)
	C 薬物療法	a 抗精神病薬	精神看護学 [1] : 第5章 B-1-2 「抗精神病薬」 (p.181~189) 薬理学 : 第6章 D 「抗精神病薬」 (p.169~173)
		b 抗うつ薬	精神看護学 [1] : 第5章 B-1-3 「抗うつ薬」 (p.190~191) 薬理学 : 第6章 E 「抗うつ薬」 (p.173~175)
		c 気分安定薬	精神看護学 [1] : 第5章 B-1-4 「気分安定薬(抗躁薬)」 (p.191~192) 薬理学 : 第6章 E-2 「躁状態に対して用いられる薬」 (p.175)
d 抗不安薬		精神看護学 [1] : 第5章 B-1-5 「抗不安薬」 (p.192) 薬理学 : 第6章 C-2 「抗不安薬」 (p.168~169)	
e 睡眠薬		精神看護学 [1] : 第5章 B-1-6 「睡眠薬(催眠薬)」 (p.192) 薬理学 : 第6章 C-1 「催眠薬」 (p.163~167)	
f 抗てんかん薬		精神看護学 [1] : 第5章 B-1-7 「抗てんかん薬」 (p.192) 薬理学 : 第6章 G 「抗てんかん薬」 (p.177~179)	
D 症状マネジメント	a 服薬自己管理	精神看護学 [2] : 第9章 C-1-5 「服薬の援助」 (p.186~188)	
	b 心理教育	精神看護学 [1] : 第5章 C 「精神療法」 (p.194~197) 精神看護学 [2] : 第8章 E-3-4 「家族への心理教育」 (p.161)	
E 精神療法	a 個人精神療法	精神看護学 [1] : 第5章 C 「精神療法」 (p.194~201)	
	b 集団精神療法	精神看護学 [1] : 第5章 F 「集団精神療法」 (p.208~211)	
	c 認知行動療法	精神看護学 [1] : 第5章 D-2 「認知療法」 (p.202~203) 精神看護学 [2] : 第8章 E-3-2 「認知行動療法」 (p.158~161)	
F リハビリテーション療法	a 作業療法	精神看護学 [1] : 第5章 E-4 「作業療法」 (p.206~207)	
	b 芸術療法	精神看護学 [1] : 第5章 C-2-2 「芸術療法(アートセラピー)」 (p.196~197)	
	c 生活技能訓練 (SST)	精神看護学 [1] : 第5章 D-3 「社会生活技能訓練」 (p.203)	
5 安全な治療環境の提供と人権擁護	A 患者の権利擁護	a インフォームドコンセント	精神看護学 [2] : 第10章 C-1-3 「インフォームドコンセントと契約」 (p.255)
		b 入院患者の基本的な処遇	精神看護学 [2] : 第8章 A-2 「入院のしかた」 (p.68~71) 精神保健福祉 : 第3章 「ケアの構造と治療環境としての精神科病院」 (p.54~68)
		c 精神医療審査会	精神看護学 [2] : 第8章 コラム 「精神医療審査会」 (p.72) 精神保健福祉 : 第2章 A-4-4 「精神医療審査会」 (p.38)
		d 隔離、身体拘束	精神看護学 [2] : 第8章 C-2-3 「行動制限の基準」 (p.117~121) 精神保健福祉 : 第3章 「ケアの構造と治療環境としての精神科病院」 (p.54~68)
	B リスクマネジメント	a 病棟環境の整備と行動制限	精神看護学 [2] : 第8章 C 「安全を守る」 (p.110~122) 精神保健福祉 : 第3章 「ケアの構造と治療環境としての精神科病院」 (p.54~68)
		b 自殺・自殺企図・自傷行為	精神看護学 [2] : 第8章 D-1 「自殺」 (p.123~129)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 攻撃的行動、暴力 d 災害時地域精神保健医療活動	精神保健福祉：第7章 A-2-2「自殺」(p.139~141) 精神看護学 [2]：第8章 D-2「暴力」(p.129~140) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 D-5「精神障害者に対する災害看護」(p.123~125) 精神保健福祉：第11章「災害における精神保健福祉援助」(p.218~237)
6 精神保健医療福祉の歴史と法制度	A 精神保健医療福祉の歴史と看護	a 欧米における精神科医療の歴史	精神看護学 [1]：第6章 A「精神障害と治療の歴史」(p.216~227) 精神保健福祉：第1章「精神保健の歴史」(p.2~29)
		b 日本における精神科医療の歴史	精神看護学 [1]：第6章 B「日本における精神医学・精神医療の流れ」(p.228~236) 公衆衛生：第7章 C-1-2「日本における精神保健の歴史的経緯」(p.178~179) 精神保健福祉：第1章「精神保健の歴史」(p.2~29)、第2章「精神保健福祉法の現状」(p.32~51)
		c 精神保健医療福祉における看護師の役割	精神看護学 [1]：第6章 B「日本における精神医学・精神医療の流れ」(p.228~236) 精神保健福祉：第3章「ケアの構造と治療環境としての精神科病院」(p.54~68)
	B 精神保健福祉の法制度	a 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の基本的な考え方	精神看護学 [1]：第6章 E-2-1「精神保健福祉法」(p.251、p.254) 公衆衛生：第7章 C-3-2「精神障害者への支援」(p.184~187) 精神保健福祉：第2章「精神保健福祉法の現状」(p.32~51)、第4章 B「障害者自立支援法におけるケアマネジメント」(p.81~95)
		b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による入院の形態	精神看護学 [1]：第6章 E-2-2「精神保健福祉法」(p.254~255) 公衆衛生：第7章 C-3-2「精神障害者への支援」(p.184~186) 看護関係法令：第3章 II-A-4「医療および保護」(p.124~126) 精神保健福祉：第2章「精神保健福祉法の現状」(p.32~51)
		c 精神保健指定医	精神看護学 [2]：第8章 A-2-1「精神科への入院と患者の同意」(p.68~70) 看護関係法令：第3章 II-A-3「精神保健指定医」(p.123~124) 精神保健福祉：第2章「精神保健福祉法の現状」(p.32~51)
d 保護者		精神看護学 [2]：第8章 A-2-1「精神科への入院と患者の同意」(p.68~70) 精神保健福祉：第2章「精神保健福祉法の現状」(p.32~51)	
e 心身喪失者等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律の基本的考え方		精神看護学 [1]：第6章 E-2-2「医療を受けるための法律と制度」(p.254~255)	
7 精神障害者のリハビリテーション	A 社会復帰・社会参加の基本	a リハビリテーションの概念	精神看護学 [1]：第5章 E-5「リハビリテーション」(p.207) 精神看護学 [2]：第8章 E-2「精神科におけるリハビリテーションとは」(p.150~153) 公衆衛生：第7章 C-3-2「精神障害者への支援」(p.187~189)
		b 国際生活機能分類 (ICF)	精神看護学 [1]：第1章 C-2「国際生活機能分類 (ICF) の考え方」(p.26)
		c 精神障害者ケアマネジメントの基本的な考え方	精神看護学 [2]：第10章 B-1-2「精神障害者の地域生活からみた法制度の変遷」(p.240~243) 精神保健福祉：第4章「精神障害者のケアマネジメント」(p.72~95)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 長期入院患者の退院支援	精神看護学 [2] : 第 8 章 A-3-5 「退院後の生活の場や関係の調整」 (p.74~75) 精神保健福祉 : 第 3 章 E-2 「長期入院患者の退院計画について」 (p.62~63)
	B 保健医療に関する資源の活用と調整	a 保健所、市町村、精神保健福祉センター	精神看護学 [2] : 第 10 章 「地域における精神看護」 (p.228~286) 公衆衛生 : 第 7 章 C-1-3 「精神保健の関係機関・関係職種」 (p.179~181) 精神保健福祉 : 第 4 章 C 「保健師活動とケアマネジメント」 (p.92~95)
		b 精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-1-2 「精神科デイケア」 (p.251~253)
		c 訪問看護、精神科訪問看護	在宅看護論 : 第 6 章 J 「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」 (p.305~316) 精神看護学 [2] : 第 10 章 C-1-3 「訪問看護」 (p.253~256)
	C 福祉に関する資源の活用と調整	a 自立支援医療	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-1 「医療」 (p.249~256) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		b 居宅介護〈ホームヘルプ〉	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-2-4 「ホームヘルプ」 (p.257~258) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		c 行動援護	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-3 「交流(つながり)」 (p.258~261) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		d 生活介護	精神看護学 [1] : 第 6 章 E-2-3 「生活を保障するための法律と制度」 (p.256~260) 精神看護学 [2] : 第 10 章 C-2 「生活支援」 (p.256~258) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		e 短期入所〈ショートステイ〉	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-2-3 「ショートステイ」 (p.257) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		f 共同生活介護〈ケアホーム〉	精神看護学 [1] : 第 6 章 E-2-3 「生活を保障するための法律と制度」 (p.256~260) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		g 施設入所支援	精神看護学 [1] : 第 6 章 E-2-3 「生活を保障するための法律と制度」 (p.256~260) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		h 自立訓練〈生活訓練〉	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-4 「働くこと」 (p.261~265) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		i 就労移行支援	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-4 「働くこと」 (p.261~265) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		j 就労継続支援	精神看護学 [2] : 第 10 章 C-4 「働くこと」 (p.261~265) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		k 共同生活援助〈グループホーム〉	精神看護学 [1] : 第 6 章 E-2-3 「生活を保障するための法律と制度」 (p.256~260)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		l 地域生活支援事業	精神看護学 [2]: 第 10 章 C-2-1 「グループホーム」 (p.256~257) 精神保健福祉: 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95)
		m 精神障害者保健福祉手帳	精神看護学 [2]: 第 10 章 コラム 「地域生活支援事業のサービス」 (p.244) 精神保健福祉: 第 4 章 「精神障害者のケアマネジメント」 (p.72~95) 精神看護学 [2]: 第 10 章 コラム 「精神障害者保健福祉手帳」 (p.247) 精神保健福祉: 第 2 章 B-2 「福祉手帳の交付」 (p.41) 公衆衛生: 第 7 章 C-3-2 「精神障害者への支援」 (p.186~187)
	D 人的資源の活用と調整	a 保健師	精神看護学 [1]: 第 5 章 E 「環境療法・社会療法」 (p.204~207) 公衆衛生: 第 7 章 C-1-3 「精神保健の関係機関・関係職種」 (p.179~181)
		b 精神保健福祉士	精神看護学 [1]: 第 5 章 E 「環境療法・社会療法」 (p.204~207) 公衆衛生: 第 7 章 C-1-3 「精神保健の関係機関・関係職種」 (p.179~181)
		c 作業療法士	精神看護学 [1]: 第 5 章 E 「環境療法・社会療法」 (p.204~207)
		d 精神保健福祉相談員	精神看護学 [1]: (資料 2) 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.278) 公衆衛生: 第 7 章 C-1-3 「精神保健の関係機関・関係職種」 (p.179~181)
		e セルフヘルプグループ	精神看護学 [1]: 第 5 章 F-4-5 「セルフヘルプグループ (自助グループ)」 (p.210) 精神看護学 [2]: 第 10 章 C-3-1 「セルフヘルプグループ」 (p.258~261) 精神保健福祉: 第 5 章 「セルフヘルプとソーシャルサポート」 (p.98~113)
		f チーム医療	精神看護学 [1]: 第 5 章 F 「集団精神療法」 (p.208~211) 精神保健福祉: 第 6 章 「精神障害者の医療・福祉援助におけるチームアプローチ」 (p.116~131)